

蒲郡市モーターボート競走場 スタンド棟別館が完成しました。



南東側外観



南側外観



1Fホール



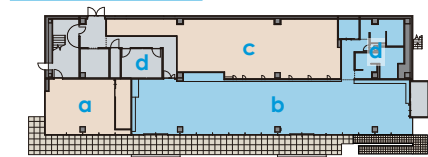
3F記者席

渡り廊下と屋外観覧席

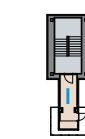
PLAN



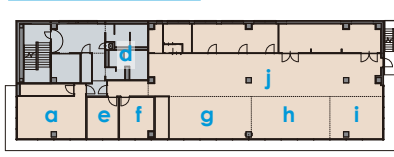
3F PLAN S=1:500



1F PLAN S=1:500



4F PLAN S=1:500



2F PLAN S=1:500

- a. Youtubeスタジオ
- b. ホール
- c. バックヤード
- d. WC

- e. ラジオ実況ミキサー室
- f. 地上波実況室
- g. JLC音声ルーム
- h. 地上波用PDルーム

- i. 地上波音声・VTRルーム
- j. 多目的スペース
- k. 記者席 (通常利用)
- l. 第2副審判室

- 一般ゾーン
- 関係者ゾーン
- 廊下・EV・WC



CONCEPT

SGレースに向けた観客分散と運営機能強化

蒲郡市モーターボート競走場では、大型レースであるSGレースの開催を見据えた施設機能の強化を背景に、スタンド棟別館建設の計画が進められました。来場者の増加によりスタンド本館に集中する人流を別館へ分散させ、快適な観戦環境を確保することが、本計画の目的の一つです。

観戦体験と環境配慮を支える3本の水平ライン

既存建築群や水面との関係性を踏まえ、競走場全体としての一体感を図りつつ、ボートレーサーが水面に描く波線をモチーフに建築全体を3本の水平ラインで構成しています。庇によって形成されたこの水平ラインは、レース観戦時の視線制御、窓面清掃のしやすさ、日射遮蔽による環境負荷低減といった複数の機能を担っています。1階ホールはグレーを基調とした落ち着いた空間とし、深い軒の出により湖面を切り取るような視界を確保することで、投票行為と観戦体験が緩やかに重なり合う場としています。4階の審判室はスタンド本館と同等の高さを確保し、レース時の視認性向上に配慮しています。

DATA

敷地面積	: 127,520.51㎡
建築面積	: 637.68㎡
延床面積	: 1,665.35㎡
建ぺい率	: 18.05% (既存建築物含む)
容積率	: 29.14% (既存建築物含む)
構造・規模	: S造・地上4階
最高高さ	: 21.89m
軒高	: 21.59m
階高	: 3.8~4.4m
天井高さ	: 2.6m
主なスパン	: 10.8m×6m
設計期間	: 2024.05~2025.02
工事期間	: 2025.03~2026.03

TOPICS

本館と別館を繋ぐ110mの渡り廊下

スタンド本館と別館の間に、渡り廊下を新設し、単なる移動動線にとどまらず、レース観戦やイベント時のキッチンカー設置、休息など、多様な活動を受け止める滞留空間としています。

環境にやさしい施設

ZEB Ready認証を取得しており、庇による日射遮蔽やLow-Eガラスの採用により外皮性能を高めるとともに、高効率な空調・照明設備の導入や高断熱仕様とすることで、一次エネルギー消費量の削減を図っています。

写真: ToLoLo studio

▶ <http://www.nissoken.co.jp>